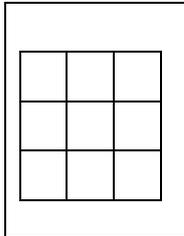
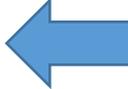
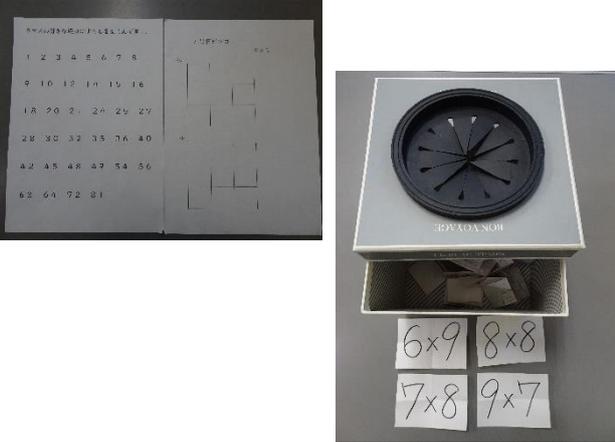
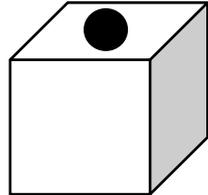


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 九九マスターボックス</p>	<p>【学校名】 日上市立楡形小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 算数 自立活動</p>	<p>【制作者名】 小野 莉沙</p>
<p>【制作の意図】 ゲーム感覚で楽しみながら、九九の定着を図ったり、正確に覚えたりできるようになってほしいという思いから作製した。</p>	<p>【使用方法】 かけ算ビンゴ（プリント）の9つのマスに好きなかけ算の数字を書く。 ボックスの中の紙を一枚取る。 かけ算の式を見た後、答えと書いた数字が選んだマスの中にあるか探し、一列ビンゴをつくる。</p>
<p>【制作上の工夫】 九九カードを作るときに、あえて苦手な段や習得できていない式を書くようにした。 箱に手が入れやすく、中身が見えないようにした。また長く使えるように、少し固めの物を選ぶようにした。 9マスから始めることで、無理なく短時間で終わるようにする。</p>	<p>【見取り図】 <ビンゴのワークシート> <答えヒント> (A4用紙 3×3マス)    </p>
<p>【写真】</p> 	<p><九九カード> (A4用紙を8等分 36枚)  <ボックス> (正方形 36枚が入る箱)  児童の手が入る大きさの穴</p>
<p>【材料・材質・部品等】 蓋付きの箱 排水溝のふた 九九が書かれた紙 (36枚) ビンゴのワークシート 九九の答え (ヒントカード)</p>	<p>【使用効果と応用発展】 今回は、正しい答えが言えるかをビンゴで遊びながら行った。応用として答えを書いた物を箱の中に入れておき、自分で式を作る学習も取り入れることができる。 中身をカラーボール (算数: 確率) に変えたり、物当てクイズ (自立活動) ができたり、いろんな場面で活用できる。</p>